



図書館つうしん



こころをつなぐ 人権シリーズ



シリーズ部落差別の問題③

部落問題を考える3つのキーワード『今』『こころ』『わたし』

文責：国東市隣保館館長 尾立 加寿美

国東市隣保館では年間10回「隣保館じんけん講座」を知ろう、学ぼう、取り組もう」を開催しています。その講座アンケートの中で、このような回答にであうことがあります。

「部落差別ってまだあるの？」「聞いたことがない」「私は差別をしたことがないから…」

皆さんは、どのように感じますか？もう部落差別はないのでしょうか？

私は6月末、県外のある市で開催された「差別事件報告学習会」に参加しました。会場には日曜日にもかかわらず、500人を超える人が集まってきました。中でも、高校生と保護者による「差別なき社会に向けてのアピール」では、それぞれの立場で部落差別に対する思いや願い、解消に向けての決意を聞き、私自身もその「熱」に元氣と勇気をもりました。

またその学習会の中で、『今』『こころ』『わたし』という部落問題を考える時の3つのキーワードが出され、私は、隣保館にされた部落差別落書きと重ねながら話を聞きました。

過去のことでも遠いところのことでも

ない『今』『こころ』で起きた部落差別

部落差別は以前とは形を変え、見えにくくなってはいますが、確かに存在します。特にインターネット上では、匿名性を利用して悪質な書き込みがされたり、瞬時に拡散されたりしています。その上、すぐに削除するのが難しいという現状があります。そんな中、昨年5月15日、国東市にとって忘れられない、忘れてはならない部落差別落書き事件が起きました。隣保館の壁2か所に黒いマジックのようなもので、とても大きく、何度も文字を重ねて「ブルックハデイク」と書かれていました。

隣保館は、地域社会全体の中で福祉の向上や人権啓発の拠点となるコミュニケーションセンターとして、各種相談や人権課題解決のための事業を行うことを目的として建てられました。その施設に部落差別落書きがされたことは、多くの人に衝撃を与えました。

まさに『今』

『こころ』で部落差別が突然起きて、『わたし』の問題になった瞬間でした。

過去のことでも遠いところのことでも



落書きの一部分

これから『わたし』はどうするか？部落差別は、「過去のどこかの出来事ではない。今、こころで、起きている。見ようとなれば見えないうし、知ろうとなれば分からない」ということを再確認した今、『わたし』たちがこれからどうするのが問われているのだと思います。今回の部落差別を怒り、悲しみ、悔しさの感情だけで終わらせるのではなく、私たち一人ひとりが『今』『こころ』にある部落差別を『わたし』の問題として考えることができるよう、今後の教育・啓発に活かしていかなければなりませんし、それが行政の責務でもあります。

『令和6年度 大分県人権県民講座・第33回差別をなくす私の里のつどい』
日時 10月10日(木) 午後2時～4時
場所 アストくにさき アストホール
講演
演題 「部落問題を通して考える日常の中の差別」
講師 「わたし」から始まる「部落」の情報発信サイト『BURAKUHERITAGE』運営メンバー
上川 多実さん

上川多実さんは、著書『寝た子でいるの？見えづらい部落差別と私の日常』の中で、「わかりにくい」「見えづらい」部落差別と自身向き合ってきたことや部落問題をこれからどう伝えるか、どう受け取ってもらうかについて

【講師プロフィール】
1980年東京都生まれ。関西の被差別部落出身の両親のもと、部落ではない地域で育つ。現在二児の子育て中で、現代の部落差別について各地で講演活動などを行っている。

図書館の推し本

『好きになってしまいました。』
三浦 しをん/著 大和書房

直木賞を受賞した「まほろ駅前多田便利軒」の作者である、三浦しをんさんの愛と笑い、そして妄想に満ちた日常(ときどき非日常)が綴られたエッセイ集です。くすっと笑えて、どこか懐かしい気持ちになれる人気作家の日常をちょっとのぞいてみませんか？

「ここに行ってみたいな」「この本読んでみたいな」と、興味が広がるお話が盛りだくさんです。大分県竹田市の話も出てきますよ。

安岐中学校(1年生)の推し本

『5分後に意外な結末EX
インディゴを乗せた旅の果て』
桃戸 ハル/著 Gakken

累計450万部を超え、各種「人気本ランキング」でも常に上位にあげられる人気シリーズの最新刊。短い時間で読めて、全編、予想外の結末。本作でも、笑い、感動、恐怖、名作など、さまざまなタイプのドンデン返しを用意。子どもから大人まで楽しめる1冊。

私のおすすめは、「私が作家になった理由」と「釣り場」です。他の話もおもしろいので、ぜひ読んでください。私は本が好きなので、本に関係する職業に就きたいです。



安岐中学校1年 持地 碧さん

- 国見図書館 ☎82-1585
- くにさき図書館 ☎72-3500
- 武蔵図書館 ☎69-0946
- 安岐図書館 ☎67-3551

図書館トピックス

● 中学校への移動図書館を実施しました

7月に市内4つの中学校・義務教育学校への移動図書館を初企画で行いました。中学生たちはうれしそうに本を選び、258人に510冊を貸し出しました。



● 「夏休み工作教室」を行いました

夏休み期間中、市内各図書館で工作教室を行いました。参加者は120人、読み聞かせの後、子どもたちは真剣に素敵な作品作りにチャレンジしました。



国見図書館▶

● 図書館協議会を開催しました

7月30日に令和6年度第1回国東市図書館協議会を開催しました。5年度の事業報告と6年度の事業計画について、委員から多くのご意見をいただきました。今後の図書館運営に生かしていきます。

図書館イベントカレンダー

- 9/12(木) あかちゃんおはなし会 午前11時 くにさき図書館(えほんのへや)
- 9/8(日) おはなし会 午前11時 国見図書館
- 9/14(土) おはなし会 午前11時 くにさき図書館 武蔵図書館 安岐図書館

休館情報

- 毎週月曜 図書館休館日
- 9/17(火) 敬老の日の振替休館
- 9/27(金) 月末整理日(※毎月最後の平日は整理日で休館)